別紙

ＩＣＴ活用工事（土工 1,000m3未満）計画書

〔　切土工1,000m3未満　および　小規模土工　〕

当該工事において、施工プロセスの各段階および作業内容において、ＩＣＴを活用する場合は、左端 のチェック欄に「レ」と記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施工プロセスの段階 | 作業内容 | 採用する技術番号（参考） | 技術番号・技術名 |
| □ | ①３次元起工測量 | □ | 土工 |  | 1　　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量2　　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量3　　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量4　　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量5　　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量6　　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量7　　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量※採用する具体の技術は受注後の協議により決定する。※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。 |
| □ | 付帯構造物設置工 |  |
| □ | ②３次元設計データ作成 |  |  |
| □ | ③ＩＣＴ建設機械による施工 | □ | 掘削工 |  | １ ３次元ＭCまたは３次元MG建設機械 |
| □ | 法面整形工 |  |
| □ | その他（　　　　　　）　　　 |  |
| □ | ④３次元出来形管理等の施工管理（※費用計上対象外） | □ | 出来形管理（土工） |  | １　　空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理２　　地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理３　　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理４　　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理５　　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理６　　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理７　　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理８　　施工履歴データを用いた出来形管理（土工）９　　モバイル端末を用いた出来形管理１０　地上写真測量を用いた出来形管理（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。※出来形管理にあたっては、上記の５～８による出来形管理を実施するものとする。なお、監督員と協議のうえ上記１～４の他、９、１０による出来形管理を実施してもよい。（※ただし、土工数量1,000 m3未満における「３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用」は費用計上の対象外となるため、注意すること。） |
| □ | ⑤３次元データの納品（※費用計上対象外） | ①②④により作成した３次元データを、工事完成図書として電子納品する。 |

注 1) ＩＣＴ活用工事(土工　1000m3未満)の詳細については、ＩＣＴ活用工事（土工 1,000m3未満）特記仕様書及び試行要領によるものとする。

注 2) 具体的な工事内容及び対象範囲については、契約後、施工計画の提出までに、発注者へ提案・協議し決定する。

※関連施工種である「付帯構造物設置工」の３次元出来形管理を行う場合は、次ページについても参照のこと。

ＩＣＴ活用工事（土工 1,000m3未満）計画書

〔　切土工1,000m3未満　および　小規模土工　〕

※関連施工種である「付帯構造物設置工」の３次元出来形管理を行う場合は、以下の表についても入力すること。（以下の左端 のチェック欄に「レ」と記入する。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| □ | 【付帯構造物設置工】④３次元出来形管理等の施工管理（※右欄の技術番号5～7の出来形管理を選択した場合は、費用計上の対象外） | □ | 出来形管理（付帯構造物設置工） |  | 1　　空中写真測量（無人航空機）による出来形管理2　　地上型レーザースキャナーによる出来形管理3　　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理4　　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理5　　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理6　　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理7　　ＲＴＫ-ＧＮＳＳを用いた出来形管理※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。※ただし、上記５～７の出来形管理を選択して出来形管理を実施した場合は「３次元出来形管理・３次元データ納品費用、外注経費等の費用」の対象外となるので注意すること。※「①３次元起工測量」で採用した技術と相違しても良い。 |
| □ | 【付帯構造物設置工】⑤３次元データの納品（※④右欄の技術番号5～7の出来形管理を選択した場合は、費用計上の対象外） | ①②④により作成した３次元データを、工事完成図書として電子納品する。 |